

石川県における がん登録 ダイジェスト版

【平成14年標準集計・平成10年罹患者生存率集計】

平成18年3月

石 川 県

はじめに

平成3年から石川県が実施主体となって、社団法人石川県医師会、県内全医療施設および金沢市保健所の協力を得て実施している「石川県地域がん情報管理事業(がん登録事業)」は15年目をむかえました。

このダイジェスト版は、がん予防の観点から、県民や医療及び保健関係者(市町村・保健所)に対し、情報をわかりやすく提供することを目的として、平成12年度から発行しているものです。

このダイジェスト版が、石川県民全体のがん予防の啓発や医療及び保健関係者の活動等に、大いに役立つことを願っております。

平成18年3月

石川県健康福祉部

ポイントを簡単に知りたい方のために

詳細はこちらのページ

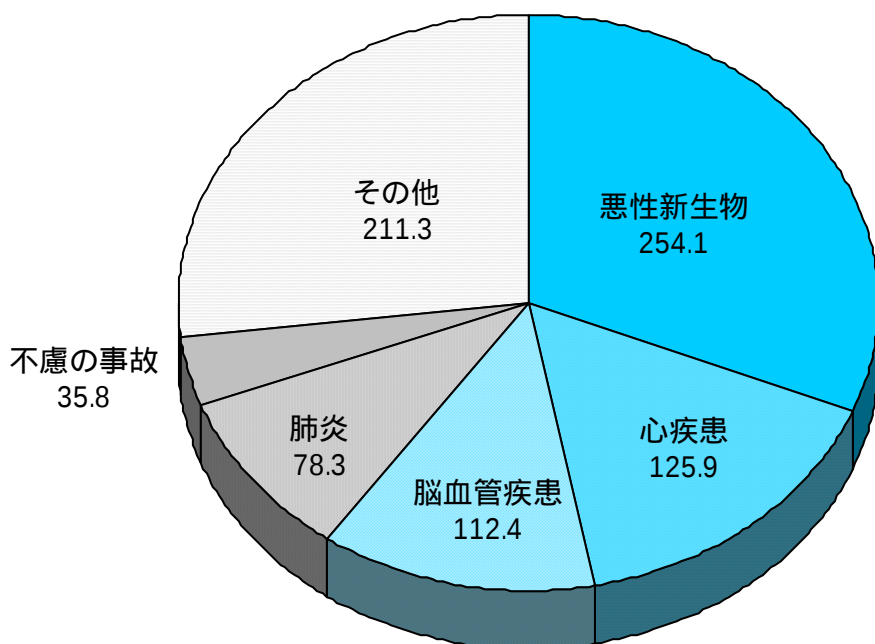
- がん登録はがん対策に重要です。 ……がん登録事業の目的 P1
- がん登録は行政・医療が協力して行っています。
……石川県がん登録の実施体制図 P2
- どの年代にどんながんにかかりやすいかごぞんじですか？
……年代別のがん罹患状況 P5
- 男性女性とも「胃がん」は減少傾向です！
男性では「肺がん」、女性では「乳がん」が気になる動き方です！
……年齢調整罹患率と年齢調整死亡率の推移 P6
- がんにかかる人・亡くなる人が多い部位は全国と同じです。
……早期がんの割合 P8
- 早期に見つかりやすいがんは、「胃がん」と「子宮がん」です。
……早期がんの割合 P10
- 男性女性とも「大腸がん」「胃がん」が比較的経過が良好です。
女性では「乳がん」「子宮がん」はさらによい経過を示しています。
……5年生存率 P11
- 検診でがんが見つかった人は、外来で見つかった場合と比較して
高い生存率を示しています。 ……検診群と外来群別5年生存率 P13
- 早期で見つかれば生存率は8割以上です。
……進行度別の5年生存率 P14

がん登録事業の目的

悪性新生物（以下、一般に広く受け入れられている「がん」という名称を使います）は、石川県の死亡原因の第1位を占めており、また増加の一途をたどっています。その対策を推進することは、県民の健康の保持・増進を図る上でとても大切です。そのためには「がん登録」によってがん罹患数（がんにかかった患者さんの数）等を的確に把握し、がん対策を検討・実施することが重要な課題なのです。

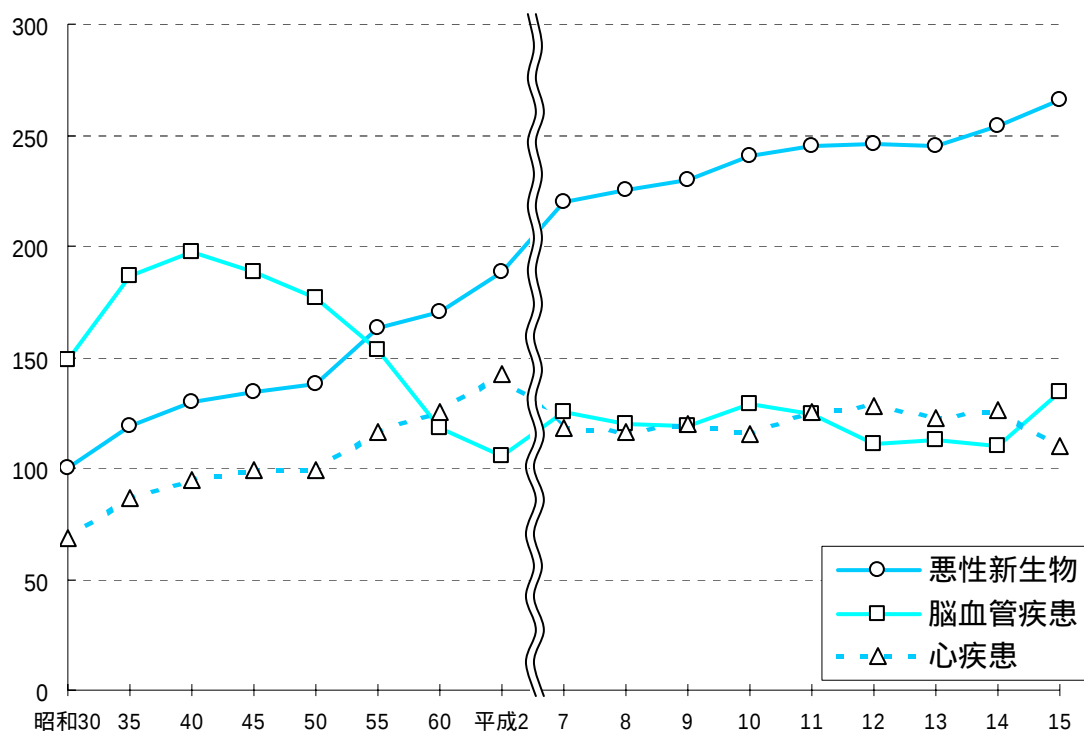
石川県地域がん情報管理事業では、がんについてその発病から治癒または、死亡に至るまでの全経過に関する医療情報を多方面から集め、個々のがんごとに集約し、これらの情報を使用して、がんの予防、医療活動に活用することを目的としています。

石川県の主要死因別死亡率(人口10万対)



出典：衛生統計年報(平成16年)

石川県の死因別死亡率(人口10万対)の年次推移



出典：衛生統計年報(平成16年)

石川県がん登録の実施体制図

がん登録・評価等部会

プライバシー保護等に関する意見
精度管理、評価等に関する指導

石川県健康福祉部 健康推進課 (事業の主管)

地域がん情報管理
委託料支払

石川県医師会 (届出票の入力 死亡データの照合)

届出票収集件数
報告

死亡データ報告

石川県各保健所 (死亡データ入力)

分析
結果
報告

届出データ報告
死亡データ報告

石川県保健 環境センター (データ分析・資料の作成)

データ
の報告

届出票
謝金

届出票
提出

金沢市保健所 (死亡データ入力)

死亡データ報告

医療施設

平成3年から石川県が実施主体となって、社団法人石川県医師会、
県内全医療施設および金沢市保健所の協力を得て実施しています。

○ がん（悪性新生物）登録の対象者

石川県内に住み、医療施設において登録対象がん（悪性新生物）に罹患したと診断された者及びそれによる死亡者を対象としている。

・罹患患者の登録

県内の医療施設が、登録対象がんの患者を診断した場合に提出される「石川県悪性新生物届出票」（以下、「届出票」）を県医師会で収集し、その内容を入力する。

・死亡患者の登録

保健所で、人口動態調査死亡票（以下、「死亡票」）を収集しその内容を入力する。

○ 対象となる がん（悪性新生物）

届出対象となるがん（悪性新生物）の範囲は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正（ICD - 10）」のうち、原発部位が表1に記載した男性8部位、女性10部位（以下、「登録部位」という。）とした。

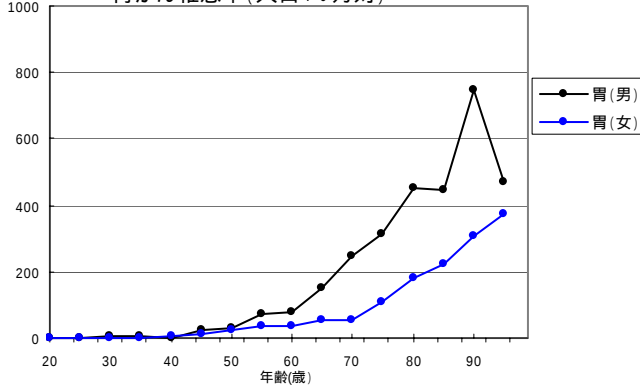
なお、当事業は、精度管理等の観点から男性8部位、女性10部位で開始したが、その罹患数合計は、全国推定罹患数（「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」平成10年度報告書：主任研究者 大島 明）により試算すると、全部位の罹患数合計に対し、男性75.0%、女性82.0%を占める。

表1 届出対象部位

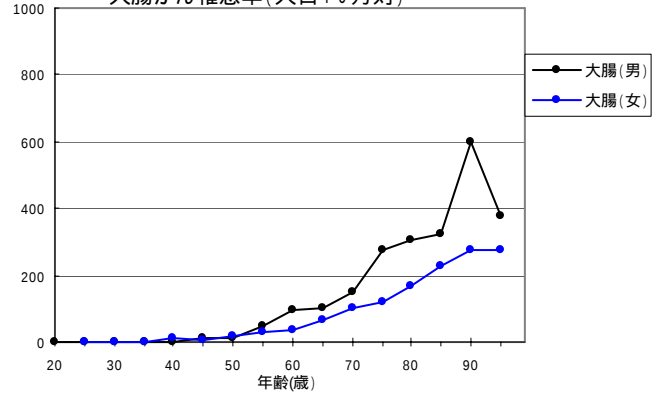
国際基本分類 (ICD - 10)	種 別
C16	胃の悪性新生物
C18	結腸の悪性新生物
C20、C19、C21	直腸、直腸S字結腸移行部及び肛門の悪性新生物
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物
C23、C24	胆のう 嚢 及び肝外胆管の悪性新生物
C25	膵の悪性新生物
C33、C34	気管、気管支及び肺の悪性新生物
C50(女)、D05(女)	女性乳房の悪性新生物
C55、C53、C54、D06	子宮の悪性新生物
C73	甲状腺の悪性新生物

年代別のがん罹患状況

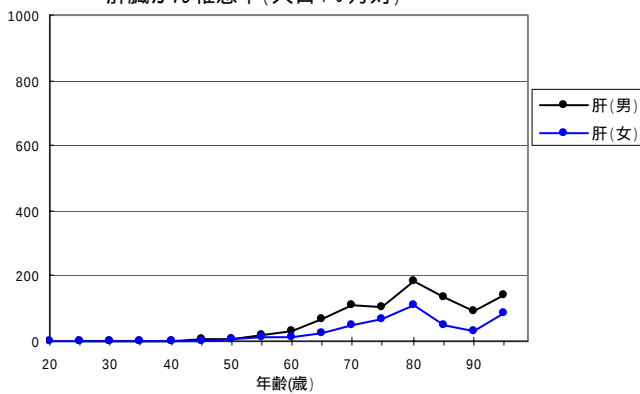
胃がん罹患率(人口10万対)



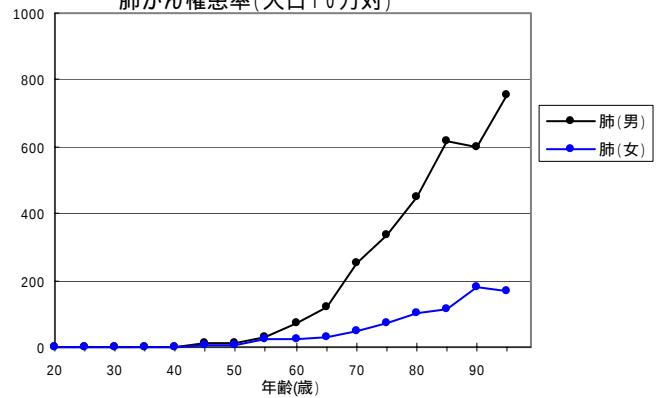
大腸がん罹患率(人口10万対)



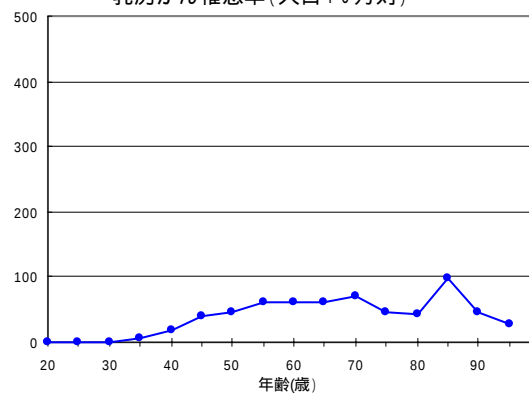
肝臓がん罹患率(人口10万対)



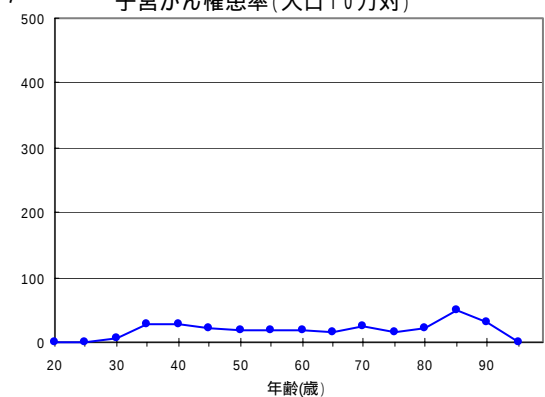
肺がん罹患率(人口10万対)



乳房がん罹患率(人口10万対)



子宮がん罹患率(人口10万対)



出典:石川県におけるがん登録(平成14年標準集計・平成10年罹患生存率集計)

男性も女性も、50歳代からがんの罹患率が上昇します。

また、胃がん、大腸がん、肺がんではほぼいずれの年代でも、男性が女性の罹患率を上回っています。

罹患率とは？

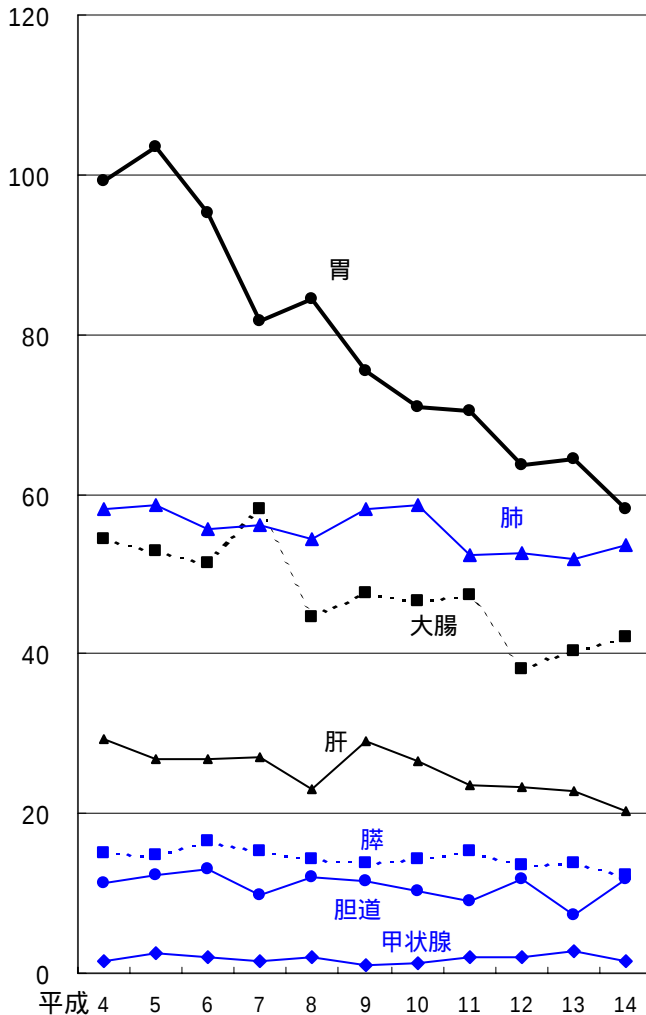
ある観察集団で、ある観察期間内に、新たに病気にかかった患者さんが何人いたかを計算したものです。

これは、ある一定期間内に病気にかかる危険の大きさを示す指標になります。

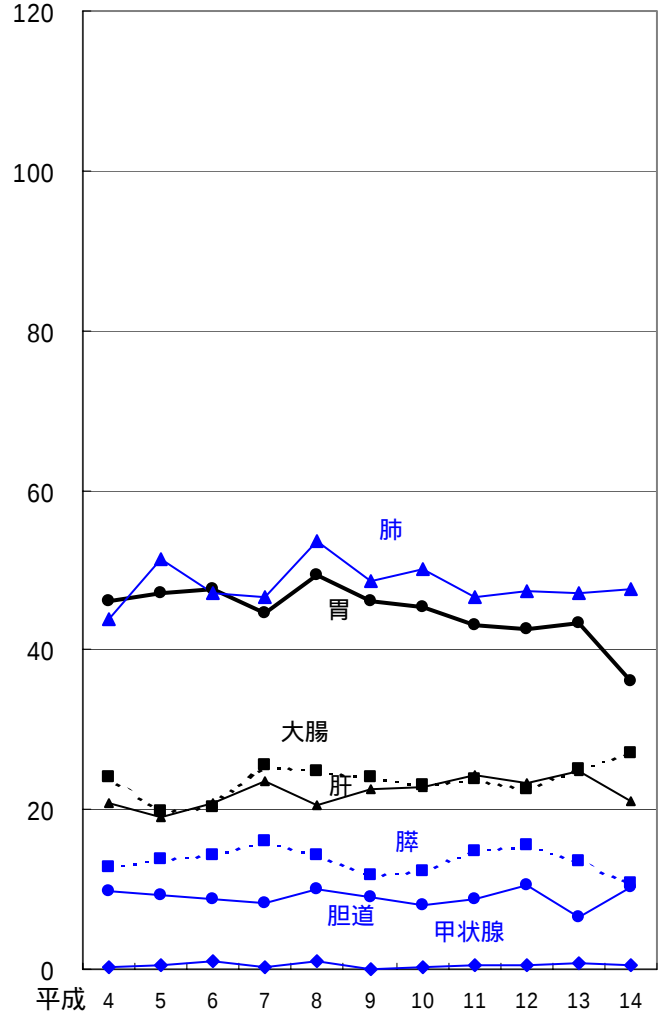
人口10万対の罹患率の意味は、1年間に10万人を観察した場合の率のことをいいます。

年齢調整罹患率と年齢調整死亡率の推移(男)

年齢調整罹患率(人口10万対)



年齢調整死亡率(人口10万対)



出典: 石川県におけるがん登録 (平成14年標準集計・平成10年罹患生存者集計)

男性では年齢調整罹患率が最も高いのは胃がんですが、低下傾向です。
 胃がんの次は肺がん、大腸がん、肝がんが続きます。
 一方、年齢調整死亡率が最も高いがんは、肺がんであり、次に胃がん、大腸がん、肝がんが続きます。

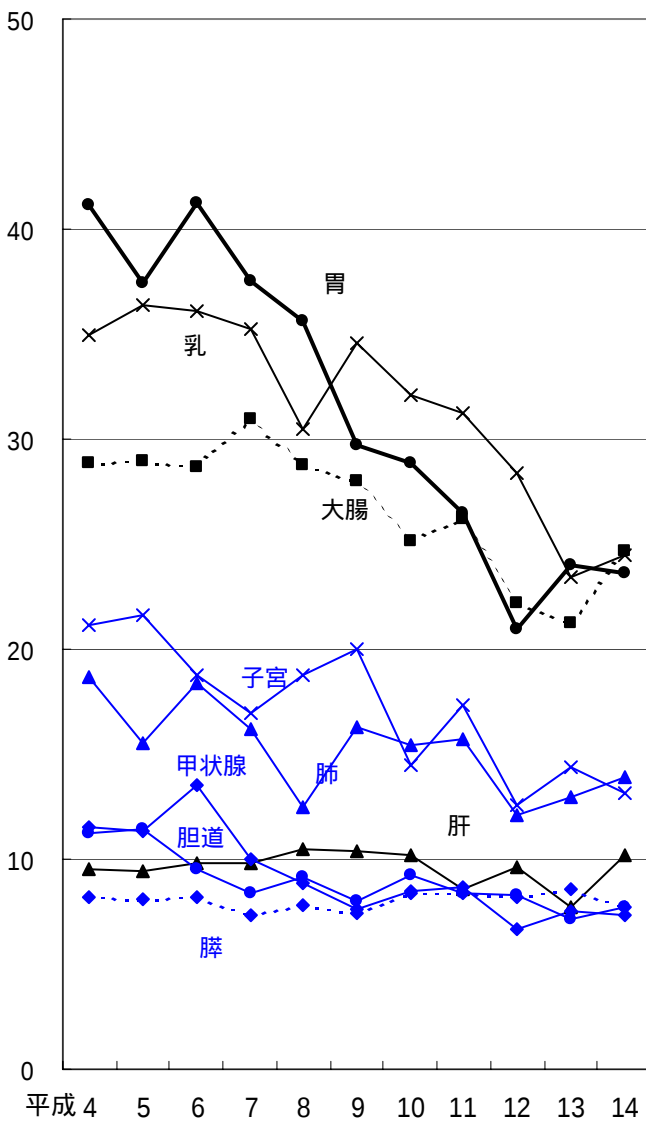
年齢調整罹患率・年齢調整死亡率とは？

罹患数を全人口で割ったものが粗罹患率ですが、粗罹患率は、高齢者が多いと高い罹患率を示しやすいため、地域比較や経年比較をするには適当な指標とはいえません。

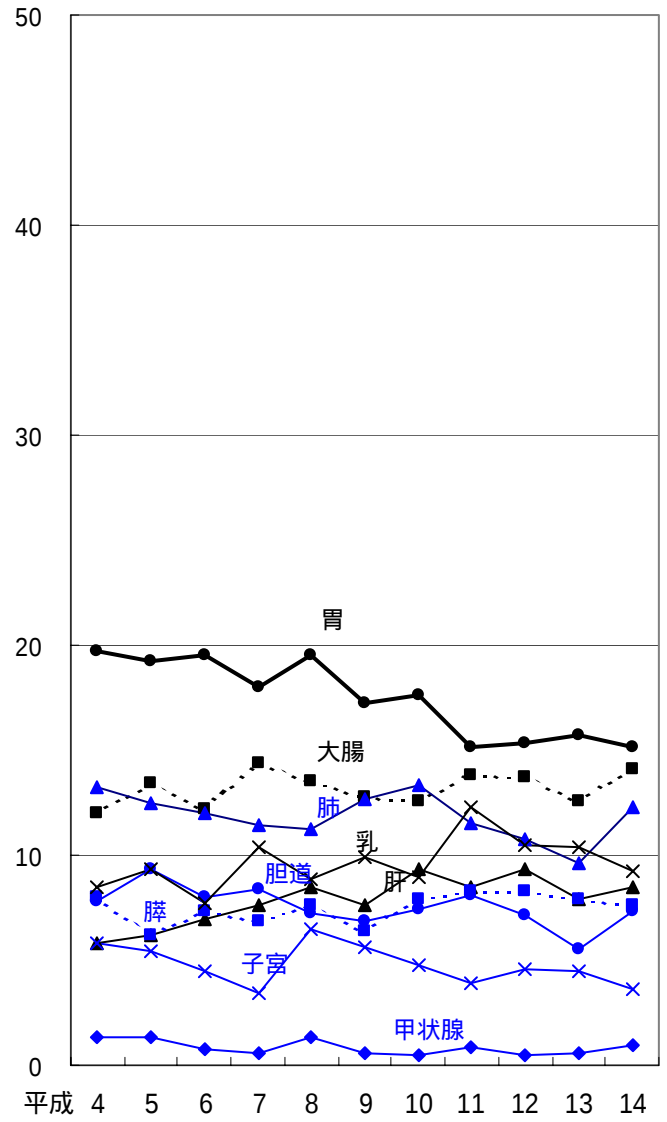
そこで、年齢構成を補正して計算したのが、年齢調整罹患率です。これは、がんのかかり易さを示す指標といえます。年齢調整死亡率も同様の考え方で、年齢構成を補正した死亡率のことをいいます。

年齢調整罹患率と年齢調整死亡率の推移(女)

年齢調整罹患率(人口10万対)



年齢調整死亡率(人口10万対)



出典: 石川県におけるがん登録(平成14年標準集計・平成10年罹患生存率集計)

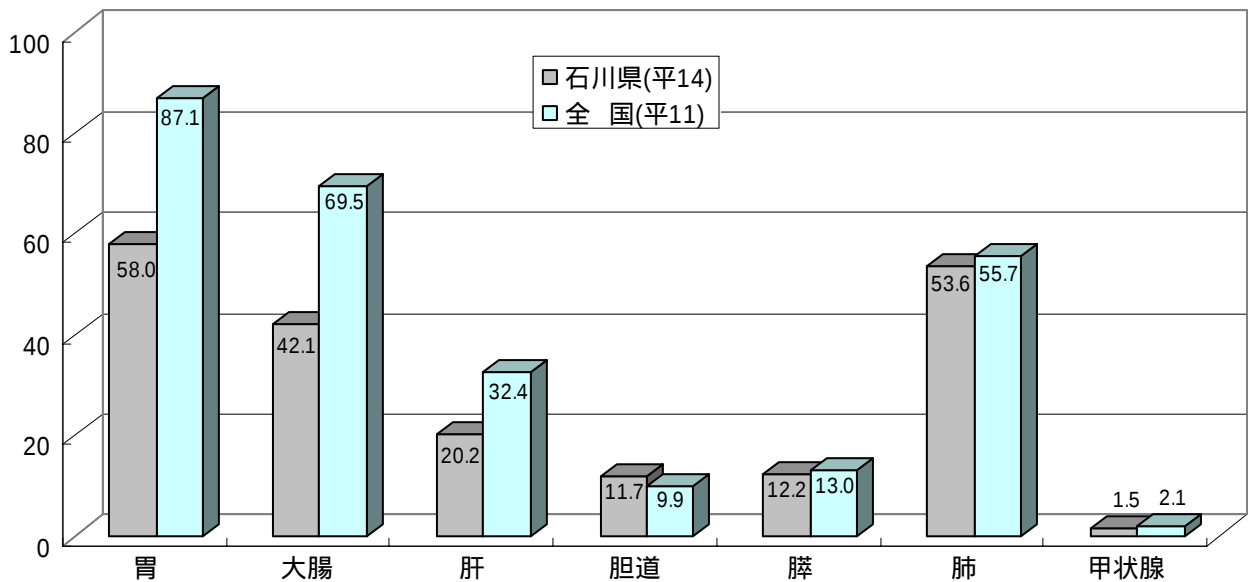
女性では、胃がん、乳がん、大腸がんとも年齢調整罹患率は減少傾向が見られます。

一方、年齢調整死亡率が最も高いのは、依然、胃がんです。そのあとに、大腸がん、肺がん、乳がんが続きます。

年齢調整罹患率の全国との比較

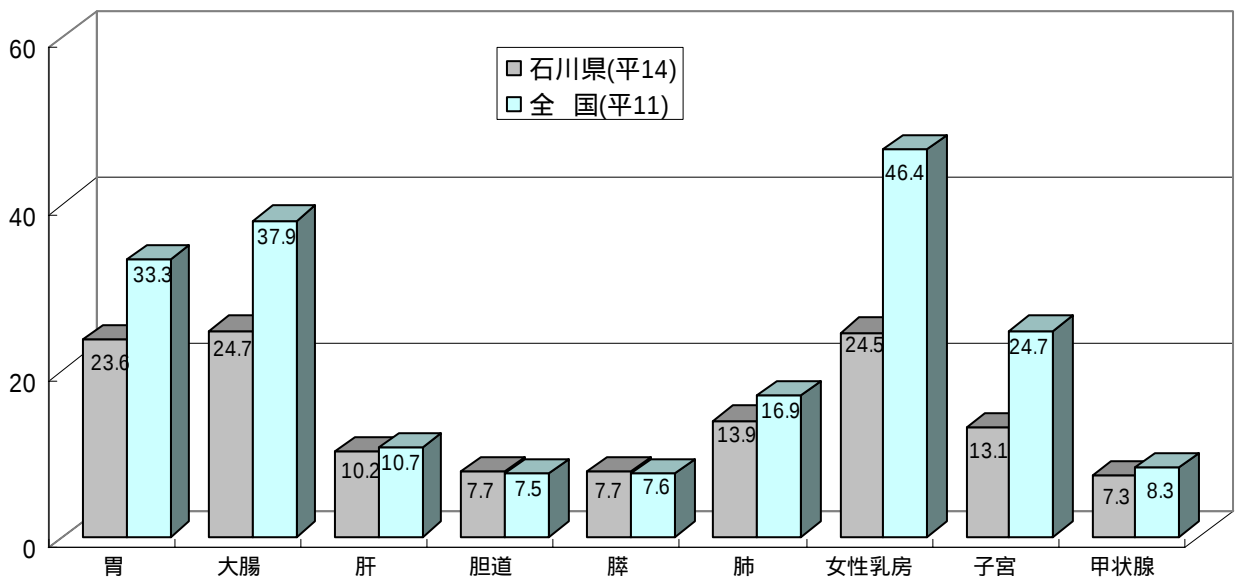
男

(人口10万対)



女

(人口10万対)



出典: 石川県におけるがん登録(平成14年標準集計・平成10年罹患生存率集計)

年齢調整罹患率は男女とも全国とほぼ同じ様な傾向です。

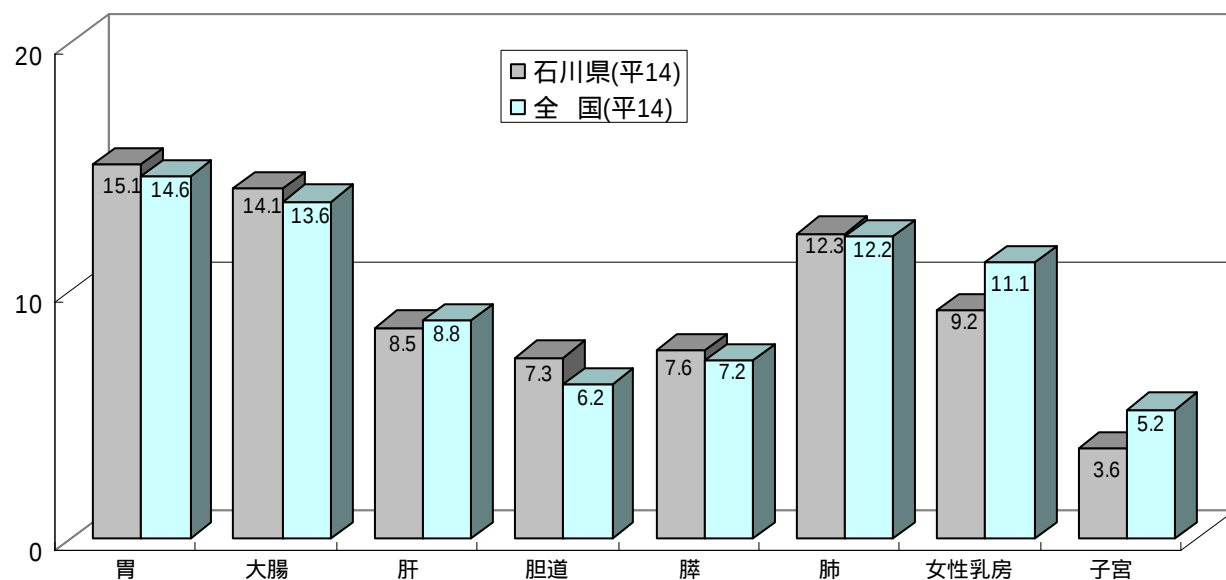
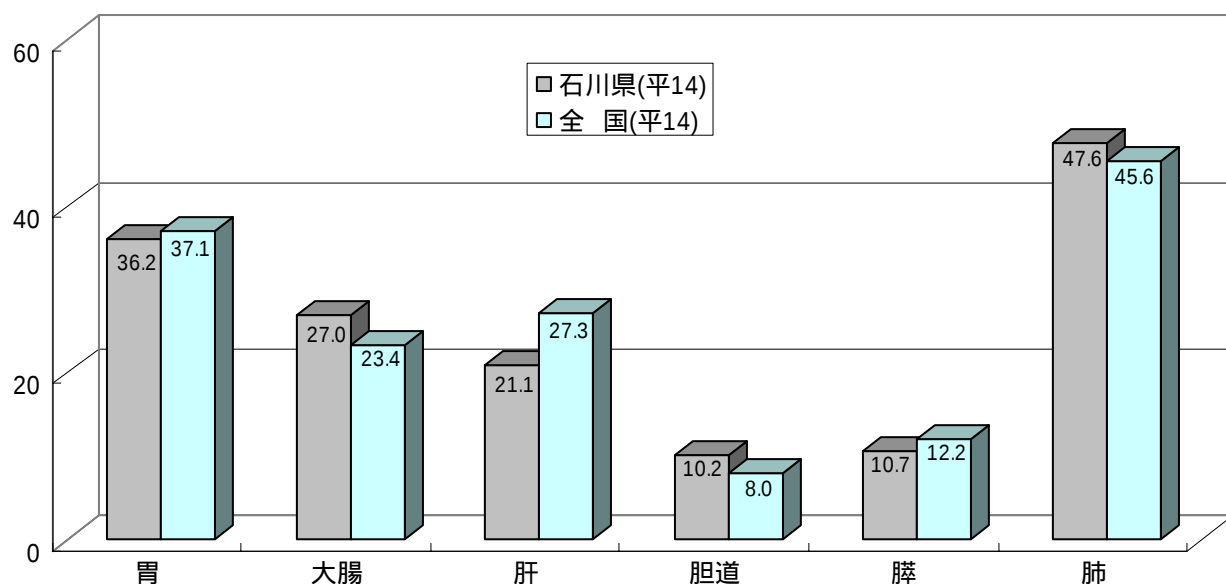
男性は、全国では1位胃がん、2位大腸がん、3位肺がん、石川県では1位胃がん、2位肺がん、3位大腸がんです。

女性は、全国では1位乳がん、2位大腸がん、3位胃がん、石川県では1位大腸がん、2位乳がん、3位胃がんです。

年齢調整死亡率の全国との比較

男

(人口10万対)



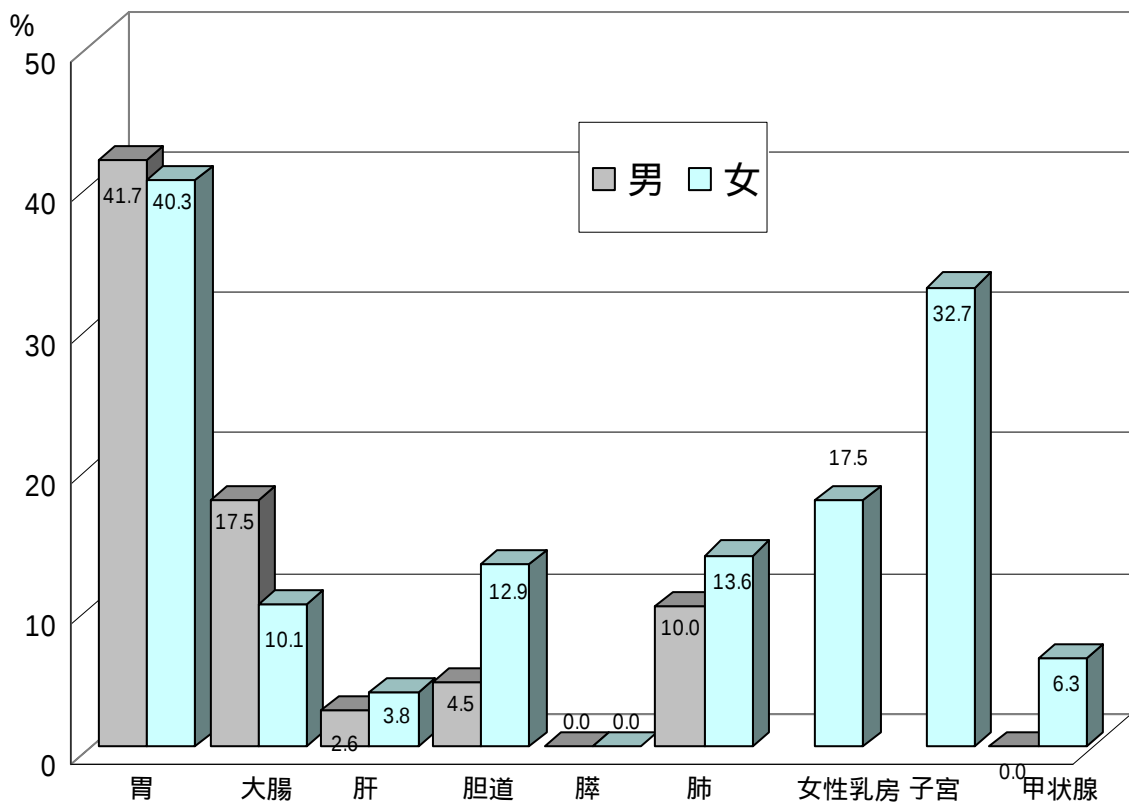
出典: 石川県におけるがん登録(平成14年標準集計・平成10年罹患生存率集計)

年齢調整死亡率の順位は男女とも全国とほぼ同じです。

男性は、全国は1位肺がん、2位胃がん、3位肝がん、石川県では1位肺がん、2位胃がん、3位大腸がんです。

女性は、全国は1位胃がん、2位大腸がん、3位肺がん、石川県では1位胃がん、2位大腸がん、3位肺がんです。

早期がんの割合



出典：石川県におけるがん登録（平成14年標準集計・平成10年罹患生存率集計）

早期のがんが、見つかりやすい部位は胃と子宮です。

見つかったがんのうち、早期がん（進行していない早期の段階のがん）の占める割合を表したグラフです。

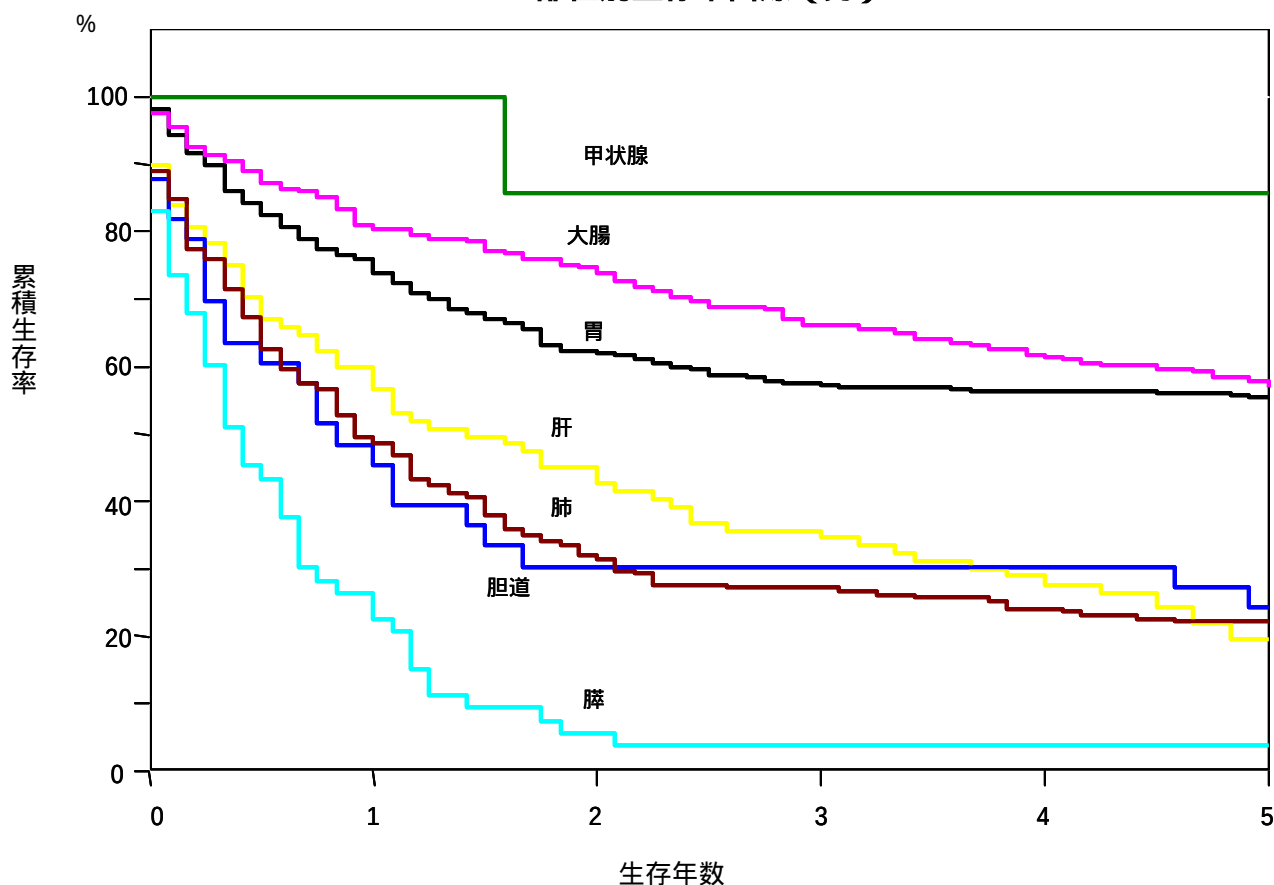
男性においては、胃がんで約40%、大腸がんで約20%です。

肝がんや膵臓がんは、10%にも満たず、早期に見つけにくいがんであることがわかります。

女性においても、胃がんの早期がん割合が、40%近くになっています。肝がんや膵臓がんは、男性と同じく、早期に見つけにくいがんです。

5年生存率

部位別生存率曲線（男）



出典：石川県におけるがん登録（平成14年標準集計・平成10年罹患生存率集計）

男性の甲状腺がん、大腸がん、胃がんは経過が比較的良好でした。

5年目の生存率が高い順から、甲状腺がん、大腸がん、胃がん、胆道がん、肺がん、肝がん、膵臓がんとなっています。

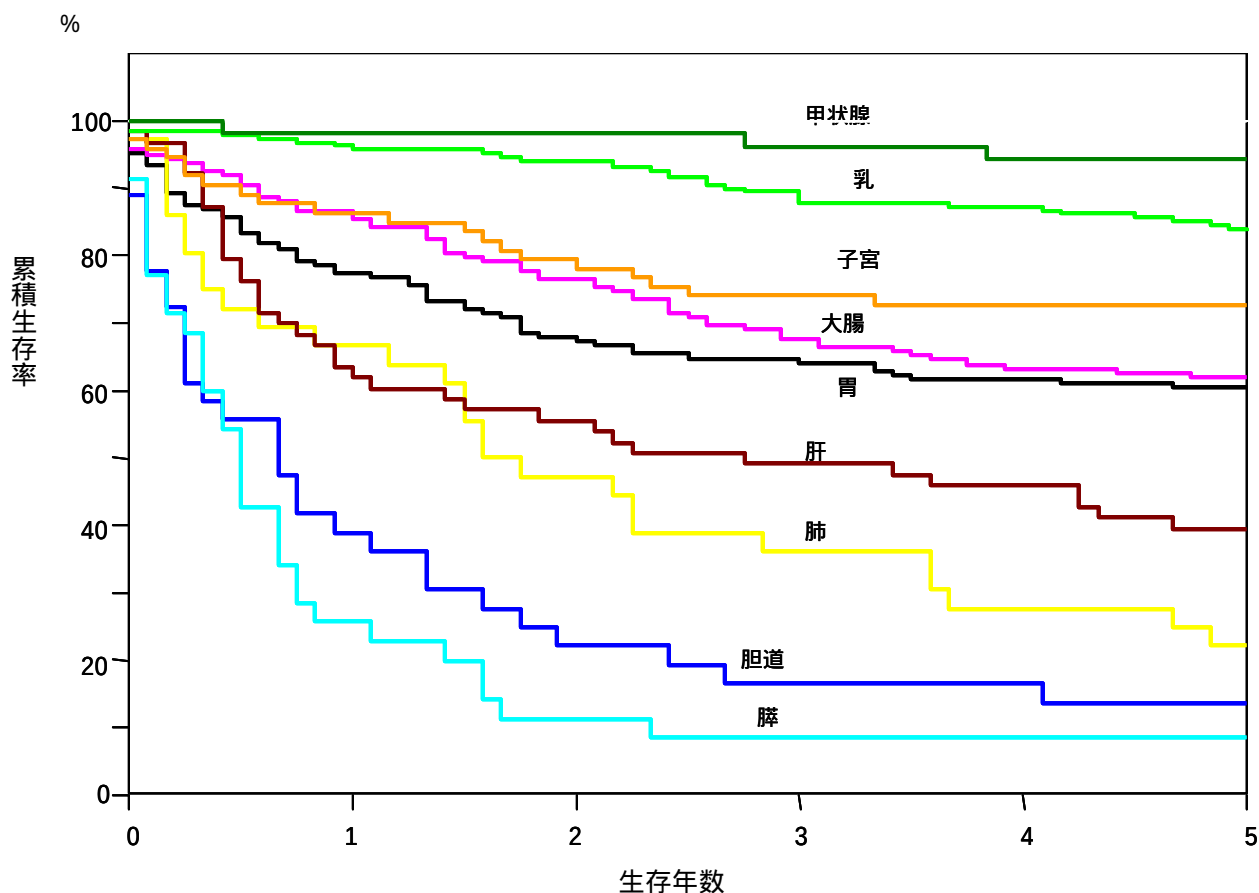
胃がん・大腸がんの5年生存率は60～70%ですが、肝胆道系、膵臓及び肺のがんは、10%以下から20%台と生存率は、低くなっています。

生存率曲線とは？

がんが、発見されてから5年間の生存状況を曲線に示したものです。がんを治療して5年生存できた人は、以後のがんの再発がほとんどなく、5年生存率は治癒率に相当するととらえられています。

5年生存率

部位別生存率曲線（女）



出典: 石川県におけるがん登録(平成14年標準集計・平成10年罹患生存率集計)

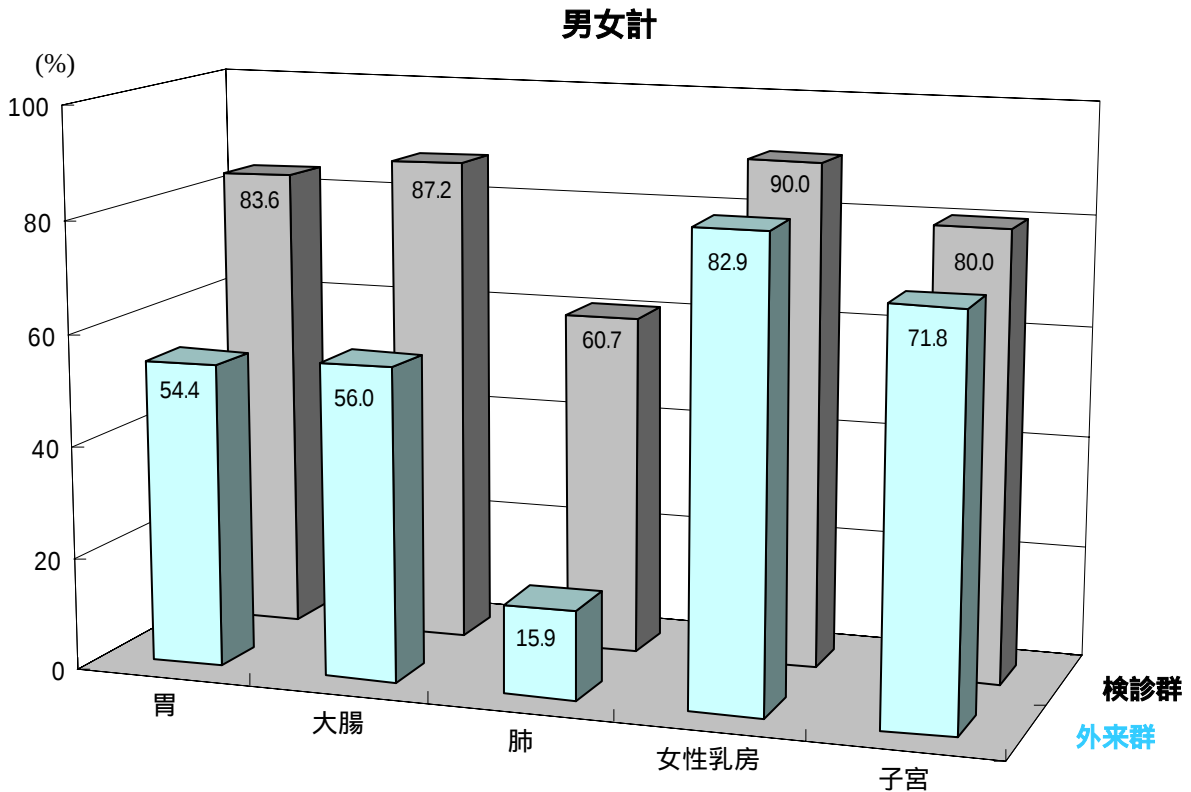
女性の甲状腺がん、乳がん、子宮がん、大腸がんは経過が比較的良好です。

5年目の生存率が高い順から、甲状腺がん、乳がん、子宮がん、大腸がん、胃がん、肺がん、肝がん、胆道がん、膵臓がんとなっています。

乳がん・子宮がんで、5年生存率は80%前後、胃がんで70%前後ですが、肝胆道系、膵臓及び肺のがんは、10%前後から40%台と生存率は低くなっています。

甲状腺は、90%以上と最も高くなっています。

検診群と外来群別5年生存率



出典: 石川県におけるがん登録 (平成14年標準集計・平成10年罹患生存率集計)

検診でがんが見つかった人は、外来で何らかの症状が出てから受診した人と比べ、高い生存率を示しています。

検診で発見されたがんと、検診以外(外来)で発見されたがんに分けて5年生存率を比較したグラフです。

いずれの部位においても、5年生存率は、検診群が外来群を上回っています。特に、検診で見つかった胃、大腸、乳房、子宮のがんの場合は80%以上が生存しています。

検診群とは？

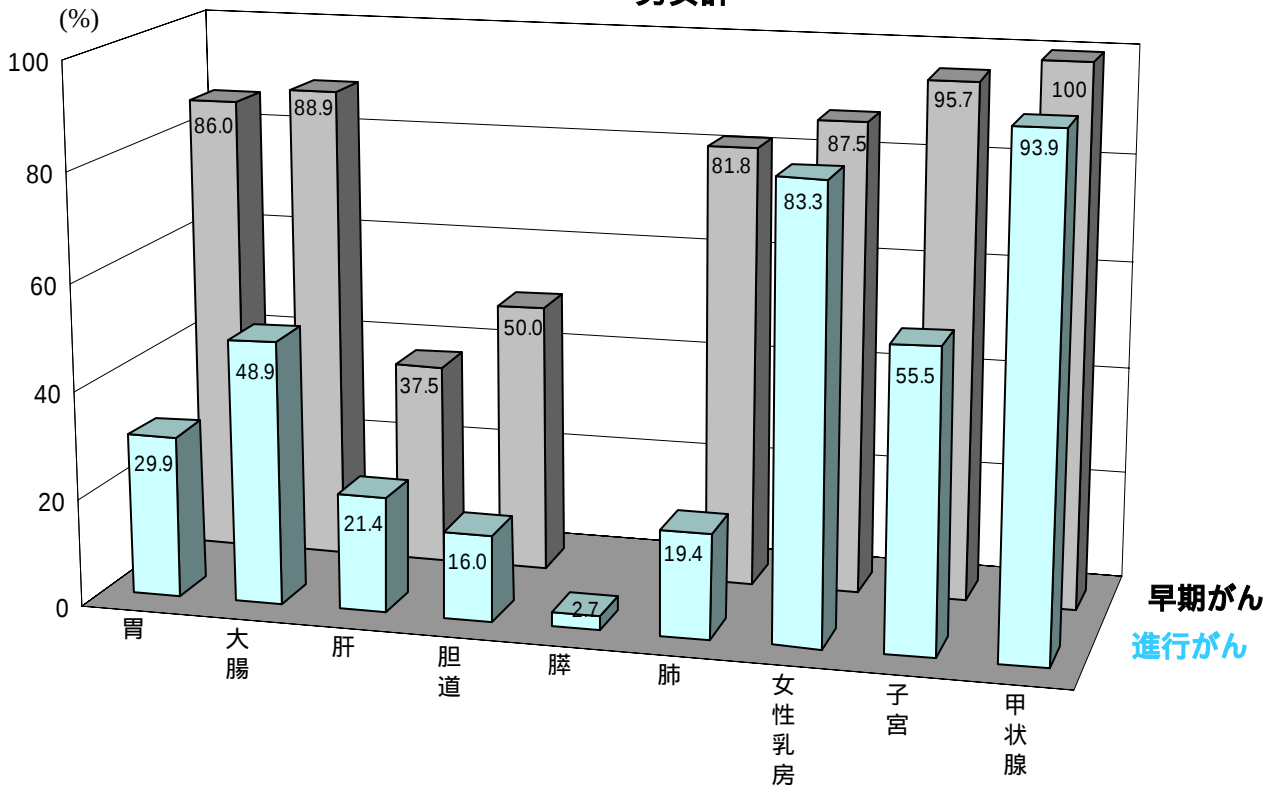
施設検診と集団検診、人間ドックを含む健康診断で発見されたがんのことをいいます。

外来群とは？

直接診療所や病院の外来を受診して発見されたがんのことです。

進行度別の5年生存率

男女計



出典：石川県におけるがん登録（平成14年標準集計・平成10年罹患生存率集計）

早期で見つければ、生存率は70%以上になります。

ただし、肝臓、胆道、膵臓、肺のがんでは異なります。

早期がんと進行がんに分けて、5年生存率を比較したグラフです。いずれの部位においても、早期がんの生存率が進行がんの生存率を大きく上回っています。胃、大腸、肺、乳房、子宮、甲状腺の早期がんの場合は、80%以上が生存しています。膵臓がんは、見つかった時点で、全員が既に進行がんでした。

進行がんであっても、甲状腺のがんの場合は、90%前後で、予後の良いがんであることがわかります。

平成13年度石川県がん管理事業における がん登録届出機関名及び届出数

(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

地区	医療機関名	届出数
金沢	浅野内科医院	2
	有松中央病院	8
	石川県成人病予防センター	133
	うきた病院	3
	大平胃腸科外科クリニック	3
	丘村クリニック	3
	おぎの胃腸科クリニック	28
	金沢社会保険病院	43
	金沢市立病院	90
	金沢大学医学部附属病院	8
	金沢東クリニック	3
	石川県立中央病院	360
	金沢医療センター	327
	斉藤内科倉西外科医院	1
	ヤザキ外科医院	1
	米島内科医院	1
	石川県予防医学協会	201
加賀	板谷医院	18
	公立加賀中央病院	284
	久藤総合病院	3
	山下医院	13

地区	医療機関名	届出数
小松	神足産婦人科医院	1
	小松市民病院	53
	森田病院	4
	やわたメディカルセンター	13
能美	辰口芳珠記念病院	135
	能美市立病院	24
松任・石川	大倉外科医院	2
	新村病院	27
	つるぎ病院	8
	野々市産婦人科	5
	公立松任石川中央病院	79
河北	内灘温泉病院	1
	金沢医科大学病院	798
	河北中央病院	16
	二ツ屋病院	5
	山崎外科胃腸科医院	4
羽咋	加藤病院	1
	西村内科胃腸科クリニック	3
	公立羽咋病院	49
	村上産婦人科	1
七尾	円山病院	2
	恵寿総合病院	116
輪島	公立穴水総合病院	57
	伊藤医院	1
珠洲	升谷医院	8
合計		2,946

【参考：平成13年度届出数 1,866件】

<注> これは上記期間中に届出を受け付けた件数であるので平成13年度に診断したとしても、平成14年度中に届出がなされれば平成14年度分の報告となる。

このダイジェスト版は、「がん登録・評価等部会のがん登録委員会ワーキング」の下記の先生方のご協力をいただいて作成したものです。

氏 名	職 名
中川秀昭	金沢医科大学医学部教授(健康増進予防医学)
大平政樹	石川県医師会理事
三浦克之	金沢医科大学医学部助教授(健康増進予防医学)
田畑正司	石川県予防医学協会健康管理センター所長



石川県健康福祉部健康推進課

〒920-8580 金沢市鞍月1-1 電話 076-225-1437
FAX 076-225-1423

がん登録集計結果の詳細やがん登録資料の利用についてなど、石川県地域がん情報管理事業に関する情報は、下記のホームページからも手に入ります。

<http://www.pref.ishikawa.jp/kenkou/gan-touroku/top.htm>